

I 計画策定の趣旨と期間

関西の観光・文化を取り巻く状況は、コロナ禍からの急速なインバウンドの回復、文化庁の関西移転後の本格稼働、「大阪・関西万博」の開催など目まぐるしく変化している。一方、観光客の特定の地域への集中や、観光や文化を支える人材の不足などといった課題への対策も含め、持続可能な観光の振興も求められており、これらの社会・経済情勢の変化に対応していく必要がある。

関西広域連合では、これらの状況を新たなステージに向けた成長の好機と捉え、観光と文化が互いをさらに高め合い、関西が一丸となって取り組むための国際観光振興及び文化振興のビジョンを示すものとして、本計画を策定する。

計画期間は、令和7（2025）年4月から令和12（2030）年3月までの5年間とするが、社会情勢等の変化により戦略を見直す必要や新たな課題等が生じた場合は、計画の見直しを行う。

II 関西の観光・文化をとりまく現状と課題

1 現状とこれまでの主な取組

観光・文化をとりまく現状

- ・新型コロナウイルス感染症の水際措置緩和以降の訪日外客数の急回復
- ・関西の文化資源の集積と多様化
- ・文化庁移転に伴う機能強化及び本格稼働等（食文化推進本部や文化観光推進本部の新設等）
- ・2025年「大阪・関西万博」の開催

これまでの主な取組

- ・官民が一体となった広域周遊観光の推進（広域観光ルートの造成、観光情報の発信など）
- ・文化庁・関西広域連合・関西経済連合会・文化庁連携プラットフォームによる共同宣言
- ・関西文化の振興と次世代への継承
- ・「EXP02025 関西観光推進協議会」の設立

2 課題

- （1）地域の文化資源の保存・活用や次世代継承が困難
- （2）関西の文化芸術の国際発信力が不十分
- （3）観光客の特定地域への集中
- （4）旅行者の日本の習慣・文化に対する認識不足によるトラブル等の発生
- （5）観光関連産業の人材不足

III 文化・観光を通じた関西の将来像

- 国内外のアーティストや起業家等が集まり、異分野融合で新たな文化やビジネスモデルが創出される関西
- 訪れる人と暮らす人が共に喜びを分かち合える持続可能な観光が実現する関西

IV 将来像実現のための戦略

■戦略1 文化資源を活用した関西の魅力づくり

関西で育まれてきた多様な有形・無形の文化資源の活性化や、豊かな自然、地域に根差した産業などの関西各地の魅力づくりを進め、観光面での活用を促進する。また、文化芸術の担い手育成や様々な人々の参画の促進等にも取り組み、より一層の関西の活性化につなげる。

- ①多様な文化資源の振興 ②文化資源の観光への活用
- ③文化芸術の担い手育成や様々な人々の参画促進 ④地域資源を活用した観光の推進
- ⑤ユニバーサルツーリズムの推進

■戦略2 関西の多様な魅力を活かした更なる広域周遊観光の促進

関西各地の魅力あふれる観光コンテンツをテーマやストーリーで結んだ広域周遊観光の促進のため、関西が一体となって広域観光をPRするとともに、周遊を促す周辺環境の整備に取り組んでいく。

また、観光を契機とした諸外国との政府間交流により、共通する課題解決や観光への相互協力体制を構築するとともに、教育旅行等の若者同士の交流を推進し、海外における日本のファンづくりを推進する。

- ①テーマ別観光の推進 ②広域周遊情報の発信と共有 ③交通インフラ等の充実と新たな周遊ルートの造成
- ④観光促進のためのデジタル技術の活用 ⑤万博を契機とした国際交流の深化
- ⑥災害時等の安心安全の確保に向けた取組の推進

■戦略3 文化芸術コンテンツの磨き上げによる価値創造と経済成長の好循環及び国際発信の推進

関西がクリエイターなど様々な人々にとって魅力的で人材が集積する地域となるため、文化芸術の拠点形成、文化芸術を活用した新しいビジネスモデルや海外発信の推進などに取り組む。

- ①文化芸術の拠点形成 ②文化芸術を活かした新たなビジネス創出 ③文化芸術の国際発信

■戦略4 観光・文化振興のための連携・推進体制と受入環境の強化

関係団体と連携し、それぞれの強みを活かしながら、広域周遊観光や文化振興を推進する。また、構成府県市と連携しながら、通訳案内士の育成やオーバートーリズム等の課題を解決するための情報共有等を図る。

- ①文化芸術を推進するための連携強化 ②関西広域の国際観光を推進するための連携強化
- ③万博に向けて構築した情報発信や観光推進体制の継続的な活用 ④観光に従事する人材の育成
- ⑤持続可能な観光のための環境整備

V 計画の目標

1 観光分野の目標

関西への訪日外国人旅行者数、関西への訪問率、関西での旅行消費額、一人当たり宿泊数 等

2 文化分野の目標

博物館施設の入館者数（関西圏域） 等